特定非営利活動法人　まきばフリースクール

〒９８７－２１８３　宮城県栗原市高清水袖山６２－１８

電話 ０２２８－２５－４４８１

Fax ０２２８－２５－４４８２

メール　npomakiba@yahoo.ne.jp

活動報告・計画書

平成３０年度報告

平成３１年度計画

目次

目次

まきばフリースクール	1
障害福祉サービス事業所　まきばの実り	3
自立援助ホーム　峠のまきば　愛子２	4
ファミリーホーム　愛子園	6
グループホーム憩のまきば	8
ご支援協力の感謝とお願い	9

８月　網地島にて「晩ご飯釣れたどー！」系男子

教育支援・居場所提供事業　まきばフリースクール　平成３０年度事業報告

利用状況

年間通所利用者数：　２５名（10～40 代）　**新規通所利用者数**：　５名

年間訪問利用者数：　１７名（10～50 代）　**新規訪問利用者数**：　６名

主な活動内容

居場所提供：月～金曜日、日中安心して過ごすことのできる居場所の提供活動を行った。

教科学習：月～金午前中に、小学校～高認試験程度までの個別学習サポートを希望者に対し実施した。

体験学習：①フットサルクラブ　毎週月曜日夜・木曜日午後に練習を行った。

②音楽クラブ　ギターやドラムなど、バンドの練習を行い、文化祭などで発表した。

③カード＆ゲームクラブ　週１回程度、カードゲームや TV ゲームなどを楽しんだ。

④グルメ＆おでかけクラブ　隔週１回程度、行きたいところ、食べたいものを決めて外出した。

イベント：　田植え＆稲刈り　５月に田植え、１０月に稲刈り体験を行った。

網地島サマーキャンプ　７月、3 泊４日の日程で、石巻市網地島で開催した。

第１０回文化祭　１２月開催。ダンス等のステージ発表・模擬店出店などを行った。

フットサル大会（MKB カップ　FUTSAL　FREEDOM）主催　８団体１３０名程度が参加した。

第５回ダイバーシティフットサルカップ in 東京に参加。

その他：　相談支援：不登校・ひきこもり・発達障害等で生きづらさを抱える本人や家族を対象に、年間を通して電話・メール相談、来所相談、訪問相談を実施した。

訪問支援：様々な理由で通所が難しい子どもや青年への継続的な訪問支援を行った。年々ニーズは増加傾向にある。

平成３１年度事業計画

活動計画

教科学習：個別のニーズに対応し、月～金午前中を個別対応可能な時間とし、小学校～高校卒業程度認定資格取得程度までの学習を支援する。運転免許取得等の資格取得のための学習にも対応する。

学習タイムとして、午前中に集団で学ぶ時間を設け、意欲の減退しているメンバーにも参加のしやすい学びの雰囲気づくりを行う。

体験学習：スポーツ・食（生産・調理・販売等食に関する全般）に関する体験学習を質・量ともに向上させる。

やりたいことの実現：行事やグルメ＆おでかけクラブで、メンバー各々が趣味関心にあう「やりたいこと」をプログラムとして形にすることで、主体性や自尊心の回復と成長を促す。また、職員からの提案も行い、より多様な体験ができるよう配慮する。

就労体験：農作業や販売、他事業施設の清掃や介護体験等の機会を個別のニーズに合わせて設ける。

イベント：　網地島サマーキャンプ　７・８月に石巻市網地島にて開催予定。

MKB カップ　FUTSAL　FREEDOM2019　11 月 4 日開催予定。

第１１回まきば祭　１２月開催予定。

修学旅行　201９年７月開催予定。

今年フリースクールは開所 20 周年を迎えます。その記念すべき年に、いくつかのプロジェクトが動き出しています。

開所時よりの宿願である牧場づくりやツリーハウス建設、どのような状況にあってもスポーツを楽しみ、回復や成長の機会とできるフットサルクラブ、インターネット上で集い安心して居られる場所を作る e スポーツクラブなどです。

私たちは 20 年をかけて、この報告書にあるいくつかの事業を創ってきました。これからもそれらの事業に集う方たち、目の前の一人の必要、時代や社会の流れにあった活動を、ひとりひとりが自分自身のやりたいことを満たせるようなやり方で、創っていきたいと思っています。

まきばは「みんなで一つ」ではありません。ひとりひとりが縁あって集まって、けれどどこまでいってもひとりひとりが一と一。二になることも、合体して一つになることもできないワタシたち。だけど違うということを受け入れて、ゆるして、共に生きていけたらいいね。そんな場所があってもいいよね。私は私のままでも、生きていっていいよね。

「まあ、いいんじゃないのかなあ」くらいのゆるやかさで、これからの 10 年 20 年、それを現実の形に、在り続けられるようにと思っています。

障害福祉サービス事業　まきばの実り　　平成３０年度事業報告

利用状況

年間利用者数：１３名（就労継続支援 B 型利用）　６名（移行支援利用）

新規利用者数：２名（B 型）　２名（移行）

退所者数：２名（就職：接客業・清掃業）

主な活動内容

野菜生産・販売：年間を通して無農薬無化学肥料の野菜（玉ねぎ・にんにくなど）を育て、直売所等にて販売した。またお盆休みなどに、道の駅等でのイベント出店を行った。ハウス栽培を本格化させ、通年を通しての栽培・収穫を目指した。

清掃作業：介護施設の清掃業務を行った。

リサイクル活動：アルミ・スチール缶、ペットボトル回収・分別活動を栗原市高清水・大崎市古川で行った。

年間行事：まきば祭・サマーキャンプなどを他事業と合同で行った。また、月１回のレクリエーションデイを設け、バーベキューや花見などを行った。

平成３１年度計画

活動計画

農業生産：新たにビニールハウスでの無農薬・無化学肥料野菜栽培を増やし、新設されるおおさき道の駅等、販路を拡大し、収益の増加に努める。

イベント出店：福祉夢まつりや道の駅でのイベントなどへの出店の機会を増やし、収益向上、作業意欲の向上維持を図る。

職員研修：外部研修参加や内部研修を行い、利用者個々のニーズに対応した支援ができる様スキルアップを図る。

レクリエーションの充実：日常を楽しくするため、趣味や人間関係を広げられるようなレクリエーション活動を増加させる。

自立援助ホーム峠のまきば・愛子２　平成３０年度報告

利用状況

峠のまきば利用者数：７名（定員男子６名）　新規利用者：１名

仙台市児童養護施設等入所児童アフターケア事業利用者：１名

仙台市就学者自立生活支援事業利用者：１名

愛子２利用者数：６名（定員女子５名）　新規利用者：２名

OB 数と主な進路・職業等（2019 年 3 月時点）：

峠のまきば OB（2012 年～）　10 名　愛子２OB（2014 年～）　11 名

内装業・自動車整備士・調理師・法面整備業・接客業・飲食業・短大進学等

主な活動内容

生活・自立支援：衣食住の日常支援と、それぞれの状況に応じて生活・就労・教育相談等の支援を行った。またフリースクールの学習サポートやフットサルクラブへの参加など、自立に必要なスキル獲得や人間関係づくりを他事業と連携して行った。

就労支援：様々な事情で就労や就労継続が難しい利用者に対し、連携する高齢者介護デイサービス施設での就労練習や、農産物直売所での接客業練習の機会を提供し、就労や自立に向けた心身の準備を行った。

OB サポート：ホームを巣立った OB たちに対し、仕事や人間関係、契約や手続きなど、それぞれの現状や困りごとに対するサポートを行った。

自立援助ホーム峠のまきば・愛子２とは

義務教育終了後の、15 才からおおむね 20 才までの家庭で生活することのできない子どもに生活の場を提供し、自立を支援するものです。児童福祉法に基づく児童自立生活援助事業で、児童相談所等の関係機関と連携して子どもたちの生活と自立を支援しています。対象となる子どもたちは、被虐待・発達障害・高校中退・少年院からの身元引受など多様な困難を抱えていることも多く、高年齢児童であるため経済的・社会的自立は差し迫った課題となってのしかかっている状況です。

当団体では峠のまきば（男子）・愛子２（女子）を運営しています。社会に早く「出す」のではなく自分の考えと意志と力をもって「出る」、退所後の数十年を安心して働き生活していくために今必要なことを身につける、を念頭に、フリースクールや介護デイサービスなどと連携しての就労支援や高認などの資格取得・進学支援と、あたたかで穏やかな「帰ってこられる居場所」づくりに取り組んでいます。

平成３１年度計画

活動計画

フリースクール等のプログラム活用：就労等の前段階として、主体性の回復と成長を促す必要のある子どもには、フリースクール等のプログラム参加によってその実現を図る。また進学や通学、高校卒業程度認定資格取得など希望に応じての学習も、フリースクールと連携してサポートする。

就労練習：フリースクールの行う就労練習（農作業・介護補助・清掃等）への参加を促し、就労継続困難な子のサポートを行う。

退所後の生活継続支援：全国の支援者からいただいた食器や布団類、家電等を整理・保管し、退所時に必要なものを無償で貸与する。また他事業とも連携して、折に触れてＯＢも参加できるような機会を設ける。

平成 30 年度報告にも記載しましたように、峠のまきば・愛子 2 ともに OB 数が 10 名を超えました。峠のまきばは開所から 7 年、愛子 2 は 5 年が経ち、長いような短いような不思議な気分で、巣立っていった子どもたちのことを思うことがあります。

多くの子たち（今はもう子どもではありませんが）とは巣立ったあとも連絡を取り合い、フラッと立ち寄ったり、フットサルに顔を出したり、困りごとの相談に来たり、つながりは切れずに続いています。このつながりがずっとつづけばいいなと思う気持ちと、ゆるやかに離れていくことが自然なのだろうと思う気持ちとがあります。まきばを離れた後にできた人間関係や職場、家、地域、そして家族が、彼ら彼女らの新しいホームとなって、帰っていい場所、自分が当たり前に居ていい場所になることが、そこで幸せを得ていくことが、私たちの願いです。

しかし一番年長の OB でも 26 才。すっかり私たちから離れてしまうにはまだ早い。と勝手に思っています。まだしばらくは、ぜひともつながっていていただきたい。寂しいから。そして彼ら彼女らの力も借りて、自分の場所を作っていける力、維持していける力を、今まきばに暮らす子どもたちの内に、育んでいけたらと思っています。

ファミリーホーム愛子園　　平成３０年度報告

利用状況

年間利用者数：４名（定員６名　男子２名　女子２名）

主な活動内容

年間行事：子どもたちの誕生日に合わせて誕生会を開催した。サマーキャンプやまきば祭等の行事は他事業と連携して行い、愛子園独自でもキャンプや映画鑑賞などを行った。

生活支援：基本的な衣食住を整え、子ども同士の関係、職員との関係に配慮しつつ、子どもたちが安心して落ち着いた生活が出来るよう努めた。

ファミリーホームとは

ファミリーホームとは、児童福祉法に基づく小規模住居型児童養育事業で、様々な事情で家族とともに暮らすことのできない子どもたち５～６人を家庭的な暮らしのなかで養育するものです。

平成３１年度計画

活動計画

年間行事：子どもたち・職員それぞれの誕生会、クリスマス会を開催する。その他夏休みなどの長期休みに、子どもたちの希望を聞きながら行事を実施する。

生活支援：子どもたちの年齢・成長段階に合わせた生活支援を行い、子どもたちの生活スキルの向上を図る。

自立援助ホーム等との連携：合同でのケース会議開催など、自立援助ホーム職員や活動との連携を深め、子どもたちの自立を促す対応と体制づくりを行う。

共同生活援助事業　グループホーム憩のまきば　平成３０年度報告

利用状況・主な活動内容

利用者数：４名(定員　４名 男性)

生活支援：食事提供・清掃等の生活支援を行った。利用者個々の生活スキル向上のため、洗濯や清掃等、不得手な家事を担えるようサポートを行った。また、集団生活で起こる人間関係のトラブルや個々の課題について、介入や個別の相談面談を行い、全員が安心して落ち着いて暮らしていけるよう努めた。

他事業連携：まきばの実り利用者が入居しているため、それら事業の職員や活動と連携し、生活の安定と自活にむけたスキル向上を図った。

平成３１年度計画

活動計画

生活支援：障害のある利用者に対する生活支援（食事提供・生活環境の維持）を行い、また利用者自身の生活スキルを伸ばしていけるよう、不得手な家事を共に行うなどする。人間関係のトラブルやコミュニケーションなど個々の課題に対しても、自ら解決に導いていけるようなスキルの獲得に主眼を置きながら、無理な負担がかからないようサポートを行う。

他事業連携：まきばの実りやフリースクールと連携し、利用者一人一人の希望やニーズに合った支援をマネジメントする。

グループホーム憩のまきばとは

憩のまきばは宮城県大崎市三本木にある、４名定員のグループホームです。法人全体のこれまでの活動から、ひきこもり経験や発達障害等の生き辛さを抱えた 20～30 代の青年たちの利用が主になっております。

また、様々な事情があって家庭で暮らしていくことができず、児童養護施設やファミリーホーム、自立援助ホームで成長してきた青年たちのなかには、障がいの影響などがあって、すぐには単身自立生活が難しい方が増えてきている現状があります。そうした方が必要な支援を受けながら、安心して生活していける場としての役割も担っています。

ご寄付いただいた皆様へ

日頃より当団体の活動に多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございます。皆様の温かいご支援のおかげで、昨年度も無事事業を行うことができました。皆様から頂いたご寄付によって、特に公的な支援の枠組みに当てはまりにくい子ども・青年たちのサポート（例：障害認定を受けていないがサポートが必要・大人支援にも子ども支援にも当てはまりにくい 18 才～20 代前半）のための支援を継続することができました。心より感謝申し上げます。

私たちの行っている活動は、すぐに結果の出るものではなく、うまくいくことよりも、自分たちの無力さを痛感させられることの方が多いものです。その日々の中で虚しさや諦めに囚われそうになるとき、応援してくださる皆様の存在に支えられています。皆様のご支援によって、私たちも受け入れられ、再び子どもを、自分を信じてやっていこうと思えます。心から感謝しております。

３１年度もご理解ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

ホームページ・ブログ：ホームページ「まきばフリースクール」・ブログ「まきばの日々」「まきば日記」にて活動の様子や情報を発信しています。ぜひご覧ください。

平成３１年度会費・寄付金振込先：

①郵便振替：０２２７０－０－４８００１　まきばフリースクール

各事業お問い合わせ・ご連絡先

まきばフリースクール　電話：0228－25－4481　090－3127－8925
FAX ：0228－25－4482　e-mail：npomakiba@yahoo.co.jp
栗原市高清水袖山６２-１８

まきばの実り　電話：0229－25－5949　FAX ：0229－25－5950
e-mail：makibaminori@gmail.com
大崎市田尻諏訪峠字諏訪１８

愛子園　電話：080－3193－6715（担当　武田）　e-mail：npomakiba@yahoo.co.jp
大崎市古川

峠のまきば・愛子２　電話：090－3127－8925（担当　中山）　FAX ：0228－25－4482
e-mail：npomakiba@yahoo.co.jp
大崎市田尻（峠のまきば）・大崎市古川（愛子２）

憩のまきば　電話：080-9632-8106　090－3127－8925(担当　安田)
e-mail：npomakiba@yahoo.co.jp　大崎市三本木

特定非営利活動法人　まきばフリースクール

〒９８７－２１８３　宮城県栗原市高清水袖山６２－１８

電話 ０２２８－２５－４４８１　Fax ０２２８－２５－４４８２

メール npomakiba@yahoo.ne.jp